

# 株式会社オンダ製作所

岐阜県山形市

需要獲得

ものづくり

## 知的財産戦略と一貫生産で自社開発企業へ転換 日本一の住宅用配管資材メーカーを目指す

1963年創業の配管資材の総合メーカー。同社は金属加工下請け企業からオリジナル製品の開発に転換し、自社ブランドを確立しつつ事業拡大および業績向上に成功している。新素材の研究開発を重ね、近年では金属製品に加えて樹脂製品にも注力。同社責任のもとで品質の保証、納期の管理を行うため、原材料から製品まで同社において一貫生産体制を構築している。他社ブランドとの差別化のために特許権だけではなく、意匠・商標と組み合わせた複数の権利化を行うことで同社製品を強固に保護する経営戦略をとっている。

所在地 岐阜県山形市富永18番地  
電話/FAX 057-524-8510/057-524-8511  
URL <https://www.onda.co.jp/>  
代表者 代表取締役 恩田 由紀

設立 1963年  
資本金 9,000万円  
従業員数 735人  
(グループ会社含む)



### 知的財産権を戦略的に取得・活用し、下請け企業から自社開発を行なう企業へと転換

下請け企業から自社開発を行なう企業への転換を目指し、知的財産に対する社内の意識改革を実施している。転換後は、特許だけでなく製品のデザインやネーミングについて権利化を戦略的に実施している。具体的には、現在の競合先は大手メーカーが多いため、同社ブランドで上市する製品に関しては特許権や意匠権を複合して取得することを基本的な考え方としている。知的財産権として保護することにより、他社の追随を許さない新製品の实用化と製品の信頼性確保がなされ、市場シェアを拡大している。



知的財産戦略に生かす従業員の資格奨励

### 内製による一貫生産と高規格設備やIT機器の活用による高効率な生産体制の実現

オンダブランドで販売していくため、設計・開発から製造、販売に至るまで社内で一貫生産を行い、仕入れ依存度はメーカーとして非常に少ない。ヨーロッパから量産性に特化した設備を導入することで、高効率な生産を実現した。このことから、工程・品質管理の改善、資源の有効活用と歩留まりを向上させる生産体制の構築に成功した。流体解析ソフトや高規格測定器をはじめIT機器を積極的に導入し、設計段階から活用することにより製品開発の迅速化に貢献した。



原材料から製品まで一貫生産

### 欧州市場の調査による製品開発への還元とオンダブランドへの関心の高まり

ヨーロッパの展示会に社員を派遣し市場の変化を察知して商品開発に還元している。ヨーロッパの給水給湯配管は日本のものと形状や設置環境が似ている。このことから、海外の製品から新商品開発のヒントを得ることもあるため、とくにドイツとイタリアの国際展示会には毎年参加しており市場調査を実施している。また、新興国において、日本の大手ハウスメーカーが大規模な住宅群を建設する計画を進めており、その給水給湯配管について供給してもらえないかと内々で打診が来ている状況である。



社員旅行（5年に1度は海外旅行）

需要獲得

ものづくり